

お茶の水女子大学での交換留学生生活

慶北大学校
シン・ジミン

お茶の水女子大学で一学期交換留学生としていたシン・ジミンと申します。交換留学を準備する時からお茶の水女子大学に必ず留学したいと思っていましたが、もう交換留学が終わる時だなんて信じられません。夢に描いた交換留学生生活は私が期待していた以上にいつも新しくて幸せな時間でした。その中でも一番記憶に残る時間を中心に紹介したいと思います。

まず、寮生活です。初めてお茶大に入って寮を見た時、これから一学期の間住む家だと思ってとても緊張した記憶があります。一人暮らしも寮生活も全て初めてだったので恐怖もありましたが、最初の入居から嬉しく迎えてくださった寮管理人の方々のおかげでわくわくする気持ちで寮生活を始めることができました。それに、寮内に良い施設が多くて寮生たちとキッチンルームでみんなでたこ焼きを作ったりスタディルームで一緒に勉強をしたりなど楽しい経験もたくさんできました。この経験を次にいらっしゃる留学生の方々に共有し、寮について心配する必要がないと知らせてくて<日本語練習 2A>授業を通じて寮に関連するウェブサイトも製作しました。韓国に帰ってもお茶大での寮生活が懐かしくなると思います。

次に記憶に残るのは授業です。私は専攻単位をすべて満たしたり、日本語基礎的な実力向上を最優先にしようと思って留学生特別科目だけで受講しました。文法、漢字、JLPT NI 対比授業で実際の生活で活用できる日本語がはるかに多くなりました。また、日本事情演習 2A、3A 授業を通じて日本文化だけでなく一緒に受けた留学生たちの多様な国の文化まで知ることができました。先ほど説明した日本語練習 2A 授業は他の人に役立つウェブサイトを直接日本語で製作することが私に達成感を与えてくれました。最後に日本人学生たちと一緒に授業を受けた日本事情練習 4A は「差別と共生」が主題の講義で外国人として留学に来た立場で考え意見を交流するので主題に対してより深く考えることができるようになりました。このように多様な授業を通じて日本語実力と共に新しい識見まで持つことができ幸いだと思えます。

学校内だけでなく学校外でも交換留学がなかったら行けなかった旅行もよく行き、現地人たちの暮らしを近くで体験しながら時間を過ごしました。交換留学を選択したことが本当に良い選択だと感じられるように手伝ってくださったすべての

方々に感謝申し上げます。萩原先生、王先生、佐々木先生、有益で楽しい授業を受けられるようにして下さってありがとうございます。適応を手伝って下さった指導教官の難波先生と色々と私を気にかけてくれたチューターのアイミさん、お茶大で会って幸せな思い出をプレゼントしてくれた友達にももう一度感謝しながらこれで文を終わります。



<寮内のキッチンルームでたこ焼きを作る写真>



<東京近郊の河口湖旅行写真>